

週報 第3294回

会 長 渡辺 万寿 副会長 瀧谷 達
幹 事 根尾 玲子 SAA 中田 広宣

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
T E L 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30

Izumiotso Rotary Club
泉大津ロータリークラブ



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotso-rc.org
ホームページ http://izumiotso-rc.org



今週の例会 (2025年6月13日) 第3294回

■ プログラム

卓話担当 小野寺 巧 会員

■ 次週のプログラム

- ・6月20日: 「一年を振り返って」
会長・幹事・SAA

■ 今後の予定

- ・6月27日: 最終例会懇親会

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

かたつむり

でんでん虫々 かたつむり
お前の頭は どこにある
角だせ 槍だせ 頭だせ

■ 先週の例会



会長の時間 渡辺 万寿 会長

二度の世界大戦に奉仕したロータリー

1910年のシカゴ大会の後、ロータリーは着実に発展していった。それから1年のうちに米国には28のクラブが出来ていた。勢力が全国的単位にまとまったことが、全世界にまでとは行かなくとも多くの国々を含めた国際的な単位にしたい、という夢をかきたてたのであった。その翌年にはウィニペグとロンドンが加わり、国際ロータリー連合会の加盟クラブ数は50に達した。

1913年、大竜巻がネブラスカ州一帯を襲い、オハイオ州、インディアナ州は、激しい洪水に見舞われた。これらの州のロータリークラブは、全国のクラブの援助を受けて、人々や動物の救済、食糧援助に乗り

出し、必要な復興作業を援助した。ロータリーは奉仕団体として、初めての大きな試金石にぶつかったのである。

戦争中は、運動を外国へ広げて行こうという私の野心は阻まれていたが、米国、カナダ、英本国とアイルランド、キューバ等のクラブの数はふえつづけ、1919年迄に米国では500近いクラブが出来、英本国及びアイルランドに24、カナダには23、また中国とフィリピンにそれぞれひとつずつクラブが出来あがった。更に1、2年のうちに、ウルグアイ、アルゼンチン、パナマ、インド、スペイン、日本、フランス、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、ブラジル、ペルー等にもクラブが作られて行った

1939年から1945年迄のロータリークラブの行った戦時奉仕は数限りなく、ここではいちいち述べ立てることが出来ない。侵略戦争のため、ある国ではロータリークラブが少なくとも積極的公的活動を中止せざるを得ない所もあった。しかし、出来る時はいつでも集会は開かれた。侵略戦争を行わない国や侵略の犠牲にならなかった国では、ロータリークラブは何を行うべきかを心得ていた。これらのクラブでは活動を開始した。彼等は、いち早くまた効率的に政府の呼びかけや国民同胞の必要に応えた。彼等は自国内で訓練を行っている同盟国の軍隊や保護を求める避難民に対して思いやりを示し、援助の手を差し伸べたのである。

英国にある500にのぼるロータリークラブは、猛烈な空襲のショックで一旦はひるんだのであったが、いくつかのクラブを失い、他のクラブの少数の会員が脱落した後は、前よりもっと強くなった。英国のロータリアン達は、ロータリーというものが戦争のために不要になったのではなく、かえって必要性が増したことを感じたのである。今日の英国のロータリーは、未だかつてない程強くなり、人間的で親しみ易いものになっている。あらゆる攻撃兵器も、英国のロータリアン達が会合する時間と場所を見つけることを阻止することは不可能であった。

フランスのロータリアン達は、占領された地域で侵略者に強制的にやめさせられない限り、決してその活動をやめなかった。フランスのニースにおける1937年の年次大会でホスト役を務めたシャルル・ジョルダン・ガッサンは、戦争中ずっと、ロータリーの地区ガバナーの仕事が続けていた。いろいろな国々で、ロータリアン達は親睦を維持しようとの決意固く、侵略者からの処罰の危険をおかして秘かに集会を開いていた。

戦時のロータリー活動で、記憶しておくに値するス

リルに満ちた出来事は多くある。以前に国際ロータリーの理事を務めたことのあるポーランドのあるロータリアンは、シカゴの事務局に彼の最後の辞表を送り届けるのに、爆弾の降りしきるワルシャワの街の中を歩いて米国大使館まで2マイルも歩いた。デンマークのロータリークラブは、彼等の国王の勇気にならい、ナチの占領下にもかかわらず、集会を開きつづけた。マニラのロータリークラブは、町が占領された後、バターンで集会を行い、カロルス・ロムロが脱走して、その話を米国に伝えた。中国においては、重慶ロータリークラブが、毎週どんなにたくさんの爆弾が降ろうが集会を開いた。インドのカルカッタでは、地区ロータリー大会が、爆弾が投下されている中で、また侵略軍がすぐ近くまで来ているかも知れないという恐怖の中でつづけられた。

ドイツ、イタリア、日本のロータリアン達は、それぞれの政府が侵略や戦争に突入した後は、集会をつづけることは不可能であった。しかし、ロータリーの精神は、たとえクラブの集会が中止されても、その後の占領地においても確かにそれが残っていたように、多くの善意の人達の間に根強く残っているのだということを、誰も疑いはしなかった。

「わがロータリーへの道」ポールハリス著
竹山 涼一 共訳

政治家には2種類いる。そう聞いて浮かぶのはポリティシャン(政治屋)とステーツマン(政治家)だろうか。前者は次の選挙を、後者は次の時代を考えるといわれ、求めるものも権力と理想に区別されたりする。だが単純な二元論では、真の指導者像を見誤るだろう。かつての米国は建国の父のようなステーツマンをまた輩出していた。米国政治の研究者、本間長世さんは、その象徴たるリンカーンについて「彼はまず練達の政治屋だった。そのことが彼に大政治家なることを可能ならしめた」とみた(「リンカーン」)。立派な指導者ほど血みどろの権力闘争は感じさせぬものである。小泉進次郎さんは政治家を「戦う政治家」と「戦わない政治家」に分ける。自らは落としどころを探る調整型でなく、抵抗勢力と戦い突破するタイプだとか。戦(いくさ)の第1幕は備蓄米。農協など通常のルートを飛び越え、関係省庁を巻き込んだ緊急対応は、コロナ禍の安倍政権でよくみた光景だ。先達に倣ったのかもしれない。

滑り出しは上々だが、問題は第2幕だ。安定供給には増産や輸入拡大、所得補償といった抜本改革が課題

になる。だが改革では先達もあてにならない。安倍政権は、やってる感ばかり。
父上の郵政民営化は、今も始末に困っている。戦の上策は戦わずして勝つ。二元論を自ら越えなければ、ステーツマンへの道は拓(ひら)けまい。

2025年6月3日 日経新聞 “春秋”より

心が軽くなる言葉

研究者として働きづめだった人生を反転させてくれた人がいる。約30年前に東北大学で助教授として勤務していたときだ。神戸市に住む全国ポリオ会連絡会代表の柴田多恵さんを紹介する新聞記事が目に残った。私は幼少期にポリオに罹患(りかん)した。後遺症で左足はまひしたが、周囲からは「根性で健常者にも負けずに生きていこう」と奮起を求められ育った。記事の見出しは「悩みを語りませんか」。同じくポリオの後遺症が残る柴田さんが元患者に呼びかける内容だった。研究職は競争の世界。弱音を吐かずに、昼夜問わず働く日々に疲れも感じていた。人生のヒントが欲しい……。そんな気持ちが日に日に増していた。飛行機で神戸へ向かった。宿泊先の大部屋で、酒を片手に思いを打ち明けた。「頑張りすぎはあかんよ」。柔らかな関西弁が、私の心をふっと軽くしてくれた。会話は弾み、深夜まで続いた。出会いをきっかけに、研究の第一線から退いた。現在は全国の障害者団体の意見を集約し、政府などに提言する仕事をしている。競争ではなく、協力をして業務を進めることが多く、私の肌に合う。柴田さんとは毎月連絡を取る仲になった。あの時の一言を忘れず、自然体でいられる人間であり続けたい。(阿部 一彦(あべ・かずひこ)=日本障害フォーラム代表) 日経新聞“交遊抄”より

幹事報告 根尾 玲子 幹事

○本日皆様のメールボックスに、ロータリーの友6月号を入れさせて頂いております。ご一読をお願い致します。併せまして各テーブルの上には、ガバナー月信6月号を置かせて頂いております。皆さん、ご一読をよろしくお願い致します。

○本日18時から、ホテルレイクアルスター泉大津7階の小津におきまして、新旧理事役員会を開催致します。関係者の方はご出席をどうぞよろしくお願い致します。

○和泉ロータリークラブ例会変更のご案内
6月18日(水)の例会は最終例会
6月25日(水)の例会は休会

委員会報告

○ロータリーの友6月号の読みどころの紹介
(小野寺 巧 会報・IT委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数42名 出席免除1名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
6/6	35名	7名	—	83.33%
5/23	32名	10名	2名	80.95%

■ メークアップ

榎本(6/2 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
原(正)(5/30 家庭集会)

■ ニコニコ箱

- ・本日は各奉仕理事の皆様、アッセンブリー宜しくお願ひします(渡辺)
- ・本日のクラブアッセンブリー、各担当理事の皆様、どうぞ宜しくお願ひします(根尾)
- ・本日 クラブアッセンブリー、各担当理事の皆様、よろしくお願ひします(中田)
- ・欠席のおわびです(寺田)
- ・早退のおわび(藤野)

ニコニコ箱合計	17,000円
累計	858,500円

■ お誕生日

松内 俊夫 会員(11日)



先週のプログラム

クラブアッセンブリー

クラブ奉仕部門

理事 道正田 均



私たちロータリークラブは、地域や世界に貢献する素晴らしい活動を日々行っています。しかしせっかくの奉仕活動や交流の様子をもっと多くの方に知っていただく方法はないか、と考えた時に、インスタグラムというツールがとても有効だと感じました。

インスタグラムの大きなメリットは、まず「視覚的に伝えられること」です。

写真や短い動画で、私たちの活動の温かさや楽しさ、社会貢献の現場を、直感的に多くの方に届けることができます。文章だけでは伝えきれない雰囲気も、写真一枚で伝わります。

また、若い世代との接点づくりにも役立ちます。インスタグラムは特に若年層が日常的に利用しているため、次世代のロータリアン候補に私たちの活動を知ってもらうきっかけにもなります。ロータリーの魅力を、より親しみやすく身近に感じてもらえるのです。

さらに、クラブ同士の交流も活発になります。他のロータリークラブの投稿を見て学び合ったり、共同イベントの告知をし合ったりと、新たなネットワーク

の広がりも期待できます。

もちろん、運営には注意点もあります。個人情報やプライバシーへの配慮、投稿内容の適切さ、クラブの方針に沿った発信が大切です。しかし、これらを皆で確認し合いながら運用すれば、インスタグラムは私たちの活動を広げ、深める強い味方になると考えています。

今後、ぜひ皆様とご相談しながら、ロータリークラブのインスタグラムページ開設を前向きに検討していければと思います。

社会奉仕部門 職業奉仕委員会

理事 山本 博章



皆様こんにちは、今年度の職業奉仕部門の活動報告をさせていただきます。

まず初めに本年度の委員会構成と開催した委員会の概要についてご報告いたします。委員会メンバーは理事、委員長に私 山本 副委員長に砂原会員、委員会メンバーに松内会員、松村会員、泉谷会員、西

田会員、そして、私の大好きな大変尊敬する小門茂樹先輩も委員として名を連ねてくださいました。

この場をお借りして、改めて感謝と哀悼の気持ちをお伝えしたいと思います。

委員会開催日は、令和6年 8月9日 第1回、9月27日 第2回、11月22日 第3回、令和7年 1月31日 第4回の計4回委員会を開催し、奉仕活動の企画、調整にあたっていました。

職業奉仕活動の概要としまして、堺にある株式会社マルエスの工場見学を実施しました。日時は、令和7年2月21日(金)の例会終了後でした。

職業奉仕活動の一環としまして堺市に本社を構える老舗食品メーカー 株式会社マルエス様のご協力の元、工場見学を開催いたしました。

ご参加いただいた人数は17名でした。ご参加ありがとうございました。

当日は、例会を15分前倒しで終了し、貸し切りバスにて現地へ向かいました。例会の時間変更などもありましたが、皆様のご協力に改めて感謝いたします。ありがとうございました。

マルエスに到着し工場見学をするわけですが、通常は通路からの見学のみですが、渡辺会長や西田会員のマルエス様のご縁により、白衣に着替え全身を消毒の上、実際の製造現場に入って見学をさせていただきました。

安全と衛生管理の徹底に触れ、ものづくりの裏側を実感する貴重な機会となりました。中では出来立てのイカ天大王をはじめ、多数の種類の試食が出来ました。体験後は直営店であるモグ・ヴィレッジでお土産を購入しバスで泉大津へもどりレイクアルスター7階の小津にて懇親会を行いメンバー間の親睦を深めることが出来ました。このように本年度の職業奉仕活動は学びと交流を兼ねそなえた充実した内容となりました。不手際などもあったかと思われそうですが、ご参加いただいた皆様、そしてご協力いただいた皆様、また委員会メンバーの皆様、全ての方々に心よりお礼申し上げます。皆様1年間本当にありがとうございました。

社会奉仕部門

理事 櫻井 善章



皆様、こんにちは。

社会奉仕部門の地域社会奉仕、及び青少年・学友委員会部門の理事を仰せつかっております、櫻井です。本日、クラブアッセンブリーということで今年度、これまで地域社会奉仕、及び青少年・学友委員会部門として実施してきた内容について、お話させていただきます。

委員会メンバーは副委員長に西田会員、委員に南出会員、松村会員、前山会員、外山会員、岡本会員、今井康隆会員です。

まず青少年・学友委員会の活動を報告させていただきます。

9月に泉大津マルシェ実行委員会に対し、5万円の協賛を行いました。この協賛金は令和6年11月3日にアルザトリウムですで行われた泉大津ダンスサミットと、令和7年3月2日にテクスピア大阪で行われる予定の泉大津ダンス&マルシェの資金として使われています。

つぎに、令和7年3月に泉大津市内のこども食堂に対して、戎(えびす)米穀店にご協力いただき、金芽米の寄贈を行って来ました。

令和6年12月に前任の杉本エレクトにご同行いただき、泉大津市役所の健康こども部 こども政策課に伺い、現在の泉大津市内のこども食堂の状況の聞き取りに行って来ました。

その後、昨年をお願いした戎(えびす)米穀店に伺い、金芽米の市場価格の確認に行って来ました。昨今のコメ不足の事情により、金芽米も高騰し、5kg当たりの単価が昨年は2,500円だったのに対し、今年は3,456円と約1.4倍に値上がりしていました。

なので、現在の予算10万円だと昨年は40袋寄付出来

ましたが、今年は29袋の寄付になりそうです。

金芽米は高価なお米ですので、配布する米の量を増やすために他のお米も考えましたが、泉大津の南出市長は市を挙げて、金芽米を推奨していますので、金芽米での協力をを行う予定です。

次に地域社会奉仕の活動を報告させていただきます。令和7年2月13日木曜日に、泉大津献血推進協議会と協力して、献血活動を実施させていただきました。時間は10時～16時30分でしたが、延べ24名の会員の皆様にご協力いただき、41名の方に献血を行っていただきました。ご協力ありがとうございました。

献血に来ていただいた方のお礼の品として、泉大津ロータリークラブからの予算で、ハンドソープ詰め合わせをご準備させていただきましたが、残った分がありますので、そちらは最終例会の景品として使っていただく予定です。

そして、先週の6月1日日曜日になりますが、泉大津市の港湾美化啓発活動に参加協力してきました。19名の会員の皆様にご協力いただきました。早朝で蒸し暑い中、ご協力いただき、ありがとうございました。

以上が、これまでに実施してきた内容と今後実施していく内容です。

次年度も引き続き泉大津ロータリークラブの会員が、全員で参加出来、楽しみながら社会奉仕活動が出来るよう引継ぎしていきたいと思っております。会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

国際奉仕部門

理事 西端 政博



今年度、国際奉仕部門は3つの委員会で活動しました。

①ロータリー財団委員会

今井(克)委員長、杉本副委員長、藪野会員、中会員、

【DDF担当】山本会員、西田会員、泉谷会員

②米山記念奨学会

八木(秀)委員長、釜野副委員長、八木(昌)会員、深井会員

③グローバル基金財務委員会

高寺委員長、森口副委員長、丹農会員、榎本会員

【委員会報告】

第1回: 令和6年7月19日(金) 13時30分～

[国際奉仕部門活動計画書の件、地区補助金事業の件、グローバル奨学生の件]

第2回: 令和6年11月29日(金) 13時30分～

[地区補助金を活用した視聴覚機器の件、グローバル奨学生の件]

第3回: 令和7年2月28日(金) 13時30分～

[グローバル奨学生報告の件、基金財務の利用についての件]

【事業報告】

1. グローバル基金財務事業

- ・能登半島災害への寄付 50,000円
- ・RI財団年次寄付50\$×43名×154円=331,100円
- ・米山基金奨学会 上期132,000円 下期129,000円
- ・春の家族例会に対する補助金 950,000円

2. 地区補助金事業

- ・泉大津市視聴覚機器寄贈
※贈呈式: 令和6年12月10日(火) 19時～職員会館3階
※感謝状授与: 令和6年12月6日(金) 11時～市役所4階 市長応接室

3. DDF事業

- ・令和6年7月9日(火) 18時30分～岸田くんとのお食事会
- ・グローバル補助金事業の最終報告書作成

以上、各委員会の皆さま1年間ご協力頂きましてありがとうございました。